

後ろ向き観察研究用

本院患者さんへの情報公開用文書（ホームページ、掲示用周知文書）

「院外心肺停止患者における臨床の現状とその治療効果の実態調査に関する後ろ向き研究」についてのご説明

研究機関名 札幌医科大学附属病院

研究機関長 病院長 土橋和文

研究責任者 循環器腎臓代謝内分泌内科学講座 助教 國分宣明

研究分担者 循環器腎臓代謝内分泌内科学講座 助教 永野伸卓

循環器腎臓代謝内分泌内科学講座 助教 西川 諒

研究協力者 循環器腎臓代謝内分泌内科学講座 診療医 中田 潤

【はじめに】

心臓を原因とする突然倒れてしまう患者さんに対して早急な心臓マッサージが推奨され、一般市民に対する心臓マッサージが最近普及されて、昔と比較して助かる方が増えていますが、その成績はまだ十分ではありません。通常的心臓マッサージ等の蘇生術に反応しない症例に対して、経皮的心肺補助装置(心臓と肺の機能を一時的に代替する装置)を用いて脳を含めた体の臓器に早期に十分に血液を供給することで、助かる可能性が高くなる可能性が報告されています。このような経皮的心肺補助装置の良い適応となる患者さんやこの装置を用いた治療限界は、これまであまり明らかになっていません。本研究は、現状の心臓を原因とする突然倒れてしまう患者さんについての現状と治療の実態を明らかにすることを目的としています。

【対象となる方】

2010年1月1日より2019年3月31日までに当院に心原性の院外心肺停止で入院となった患者さんを対象と致します。

【研究内容】

患者さんの診断・治療の際に施行した検査データを集計し、また、診療記録上から基本情報(年齢、性別、自覚症状、検査データ(心エコー、心電図検査など)、薬物療法の内容などを解析し、今後の治療方法について考察します。なお、この研究を行うことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。

【予定症例数】

予定症例数 200 例

【研究機関】

病院長承認日 ~ 2024 年 3 月 31 日

【情報の管理責任者】

この研究で使用する情報は、以下の責任者が管理します。

札幌医科大学附属病院 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 國分 宣明

【医学上の貢献】

心臓を原因とする突然倒れてしまう患者さんの治療実態を把握し、今後、治療を必要とする患者さんに対して、より適切な治療選択をおこなうことの一助となり、多くの患者さんの治療に貢献できます。

【個人情報の取り扱い】

登録されたデータには、お名前、住所などの個人を特定できる情報については削除し、新たにつけた番号にもとづいて解析を行います。学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、提供を希望しない場合は、いつでも下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合は、あなたに関わる研究結果は破棄され、診療記録なども、それ以降は、研究目的に用いられることはありません。ただし、あなたから研究対象とはしないでほしいとご連絡を受けた時点で、既に、研究結果が論文などに公表されている場合や研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことが出来ないことがあります。

【問い合わせ先】

〒060-8543 札幌市中央区南1条目16丁目

札幌医科大学附属病院 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座

本研究責任者 國分 宣明

平日 Tel (011) 611-2111 内線 32250(循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)

休日 Tel (011) 611-2111 内線 32320(11 階北病棟)